

## 地域研修を終えて

豊橋市民病院

研修医 2 年次の 2 月。初期臨床研修も終わりが近づいているこの時期での地域研修は私にとって新鮮で、大変実りあるものになりました。今回の研修で得たものは主に 3 つ。① 外来診療 ② 診療所や訪問診療など、病院以外での医療 ③ 情報収集 についてです。

自分の研修病院では 2 年間を通して緊急性の判断や急性期疾患の病棟管理を中心に経験をしてきました。その一方、緊急性は乏しい(けれども症状はある)患者さんの外来フォローは経験をしたことがありませんでした。今回の地域研修では、初診で対応させていただいた患者さんを数多く自分の外来で後日フォローとさせていただきました。初診時では原因のわからない症状で受診される方も数多くいます。当初は次回予約の間隔を決めることさえも不安で、次回の受診までに症状は悪くなっていないかどうか不安でした。それでも丁寧にご指導いただき、自分が担当した症例をフォローさせていただいた指導医の先生には本当に感謝しています。「外来でわからないことがあったら、後日自分でまた診察させてもらえばいい。それまでに自分で原因を調べて、考えて、次回の診察に活かす。その繰り返しだよ。それで患者さんの症状がよくなったら嬉しいよね。」ある指導医の先生にいただいた言葉です。自分は来年以降内科に進む予定ですが、今後の診療で忘れることができない金言になりました。

また、作手診療所の見学や、実際の訪問診療にも同席させていただく機会を設けていただきました。その中で、医療行為は必要だが病院へのアクセスが難しい患者さんが数多くいることを実感しました。患者さんが病院に足を運んで、我々が医療を提供する。これまで当たり前だと思っていたことが実際には難しいことがあるのだと肌で感じることができました。

また、決して都会とは言えない環境ではありますが、カンファレンスでの積極的なディスカッションや Up to date 勉強会、名郷先生の EBM 勉強会など、最新の医学的知見を取り入れ、患者さんに実践しようとする先生方の姿を拝見しました。環境によらず、自分次第で最善の医療を目の前の患者さんに提供できるのだと学ぶことができました。

4 週間という短い時間ではありますが、指導医の奥原先生をはじめ、指導熱心な先生方、温かいコメディカルの方々に支えられて充実した地域研修を終えることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。